



明治末の旧国鉄奈良駅舎
昭和8年まで利用されていた。奈良市の100年より



昭和40年11月 国鉄奈良駅（昭和9年改築） 撮影：吉田守氏



現在のJR奈良駅と奈良市総合観光案内所

【14】国鉄奈良駅 JR奈良駅

●明治末の旧国鉄奈良駅舎

明治23年12月、奈良-王寺を結ぶ大阪鉄道開通当時の駅舎は木造平屋建。明治25年、奈良-湊町開通し大阪と奈良が直通。その後、関西鉄道に吸収され、明治40年に国有化され国鉄となった。

●昭和40年国鉄奈良駅

昭和9年に駅舎が改築された。鉄筋コンクリートタイル張り。屋根に相輪があり軒先に風鐸が下がっている。丸柱がある仏閣風和洋折衷の建物。

●現在のJR奈良駅と奈良市総合観光案内所

駅舎等立体交差のため、旧駅舎は平成13年全面保存と決まり曳家工法で30m北へ移動し、現在、奈良市総合観光案内所となっている。